

I. 導入

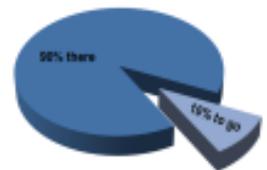
おはようございます。最近、私はヘブライ 10:24 の「互いに愛と善行に励むように心がけ、」というみことばについて考え祈らされています。祈りの中で、私が主に願い求めていたことは、さらに愛し合い、善行に励むよう心がけるよい方法を示してくださいということです。その祈りに応えて、OIC の教会家族がある目標に挑戦するよう主が導いてくださっていると感じています。その目標とは、「この会堂をいっぱいにする」ことです。

この会堂をいっぱいにしましょう。神は私たちにこのようなすばらしい会堂を与えてくださいました。ここの収容人員は 300 名です。神の栄光のために、この会堂をいっぱいにしましょう。具体的に私の祈りは、私たちが愛と伝道の心において成長し、2013 年 3 月 31 日のイースター礼拝が始まる午前 10 時には、この会堂が神をたたえ主イエスの復活を感謝する人でいっぱいになっていることです。来年のイースターは 3 月 31 日です。ですから、この目標を達成するのにまだ 329 日もあります。

これは大胆な目標です。この目標を達成するには、私たちの働きを全面的に改善しなければなりません。とは言え、実現可能な目標だとも思っています。実際、9 割がた達成したのも同然だと思えます。もちろん、数字の上では 9 割達成していません。人数で言えば、今はその半分です。私が言いたいのは、OIC が大きくなってこの会堂を満たすという転換点に達するのに必要な条件は、9 割がた揃っているということです。私たちは、愛情深いすばらしい教会家族です。毎月、新来者がたくさん訪れます。さまざまな働きがあり、経験と訓練を積んだリーダーがいます。

私たちの働きが急成長するという転換点に達するために必要なのは、愛と善行においてあと一割の頑張りだと私は思うのです。もう少し祈る、もう少し互いに愛する、もう少し勇気を出してイエスを分かち合う、そういったことです。そうすれば、神が驚くべき方法で応えてくださるのをこの目で見る喜びにあずかるのではないかと信じています。突き詰めると、神の教会を成長させることができるのは神のみです。けれども、神は私たちの信仰と努力に応えてくださるとも信じています。そして、私たちが日々このことを覚えて神の御前に祈るなら、来年のイースターにはきっとこの会堂がいっぱいになっているでしょう。

We already have 90% of what we need!



では、転換点とは何でしょう。それは、小さな変化が積み重なり、一定のレベルに達すると、大きな変化を生み出す転機となる時点のことです。例えば、山を越えて、山の向こうにすむ友人を訪ねるとします。山を登っていくのはたいへんで、一步一步に力が要ります。けれども、山頂まで登ってしまえば、あとはくだりなので簡単です。距離的には、山頂に到着した時点で目的地までまだあと半分の道のりが残っています。しかし、頂上に着けば、しんどいほうの半分が済んでいるので、残りの半分は楽に感じるでしょう。



この図は、転換点をおもしろい方法で表したものです。山を登るのはたいへんです。9 合目まで登っていたとしても、しんどいのに変わりありません。けれども、もうすぐ山頂だとわかっていたら、もう少し頑張ろうと思えます。そして、頂上に着くと状況は一転し、あとは楽しい道のりです。もし OIC が、この例えでいう 9 合目まで来ているなら、もう少しの頑張りによって、教会に大きな変化がもたらされることとなります。



イエス・キリストの福音は、この世のどんな宝よりも尊いものです。この天の宝を世のすべての人々に分かち合いたいと思います。そして、その働きはここ大阪から始まります。この会堂をいっぱいにするという目標は、もっと多くの人々に福音を分かち合うという大きな目標のひとつのステップに過ぎません。では、ヘブライ 10:15-23 を読んで、イエス・キリストの福音がどれほどすばらしいものかを改めて思い出してみましょう。

II. 聖書朗読：ヘブライ人への手紙 10:15-23、新共同訳

10:15 聖霊もまた、わたしたちに次のように証ししておられます。 10:16 『それらの日の後、わたしが／彼らと結ぶ契約はこれである』と、／主は言われる。『わたしの律法を彼らの心に置き、／彼らの思いにそれを書きつけよう。 10:17 もはや彼らの罪と不法を思い出しはしない。』 10:18 罪と不法の赦しがある以上、罪を贖うための供え物は、もはや必要ではありません。 10:19 それで、兄弟たち、わたしたちは、イエスの血によって聖所に入れると確信しています。 10:20 イエスは、垂れ幕、つまり、御自分の肉を通して、新しい生きた道をわたしたちのために開いてくださったのです。 10:21 更に、わたしたちには神の家を支配する偉大な祭司がおられるのですから、 10:22 心は清められて、良心のとがめはなくなり、体は清い水で洗われています。信頼しきって、真心から神に近づこうではありませんか。 10:23 約束してくださったのは真実な方なのですから、公に言い表した希望を揺るがぬようしっかり保ちましょう。

III. 教え

この短い聖書箇所から、神が主イエスの十字架をとおして私たちに与えてくださったすばらしいものについて改めて教えられます。イエスは十字架上で、私たちの身代わりとなってご自身の命を捧げてくださいました。それは、私たちが罪と死から解放されるためです。これは神が私たちに深く愛してくださっていることの証しです。ヨハネ 15:13 でイエスご自身が言われたとおりです。「友のために自分の命を捨てること、これ以上に大きな愛はない。」

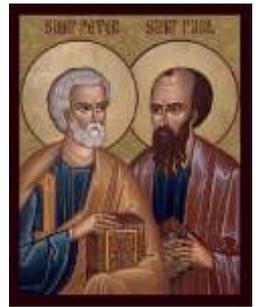


神の愛と罪の赦しが、キリストの十字架の犠牲によって与えられたというのが福音のメッセージです。私たちがこの良き知らせを聞き、信仰によってそれを受け入れると、神の恵みが与えられ、天地の創造主であるお方との関係が回復されます。それにより、私たちは信仰をもって祈るとき、神の御座に大胆に近づくことができます。ヘブライの著者はこのことを確信し、このように言っています。(ヘブライ 10:21-22) 「10:21 更に、わたしたちには神の家を支配する偉大な祭司がおられるのですから、 10:22 心は清められて、良心のとがめはなくなり、体は清い水で洗われています。信頼しきって、真心から神に近づこうではありませんか。」

私たちがイエスを信頼し、信仰をもって神に近づくと、十字架で示された神の大きなあわれみによって罪が赦されます。そして、神の愛と恵みによって、私たちは変えられます。一瞬にして劇的な変化を遂げる人もいれば、徐々に変えられていく人もいます。そのスピードがどうであれ、この変化は現実のものです。神が実在のお方であり、神の愛は確かなものだからです。

旧約聖書には、この変化についてこう語っている箇所があります。エゼキエル 36:26 「わたしはお前たちに新しい心を与え、お前たちの中に新しい霊を置く。わたしはお前たちの体から石の心を取り除き、肉の心を与える。」ヨハネによる福音書には、イエスがニコデモという男性に語りかける場面があります。そこでイエスが何と言われたか見てみましょう。ヨハネ 3:3 「イエスは答えて言われた。『はっきり言っておく。人は、新たに生まれなければ、神の国を見ることはできない。』」

新しい心。新しい霊。新たに生まれる。これらは変化を指す言葉です。使徒言行録には、ペトロやパウロといった人々の人生に劇的な変化がもたらされたことが記されています。ペトロは漁師でしたが、イエスの弟子となりました。イエスを知らないと言いましたが、その後立ち直らせていただき、聖霊に満たされて変えられ、使徒、奇跡を行う人、教会の指導者となりました。パウロは元の名をサウロと言います。クリスチャンを迫害する人でした。しかし、イエスと出会い、サウロは変えられて、ローマ帝国全域でイエスの福音を宣べ伝える偉大な伝道者、説教者である使徒パウロとなりました。神は、聖書の登場人物の人生を変えられました。教会の歴史をとおして、多くの人の人生を大きく変えてこられました。そして、今も変わらず、人々の人生を変えておられます。



私たちの多くも、イエスを信じる信仰によって、人生が変えられた経験をしたことがあるでしょう。人生が一変したという人もいれば、徐々に変えられてきたという人もいます。けれども、心からイエスを信じたのなら、昔の自分と生まれ変わった新しい自分に明らかな違いを見る日が来ます。私のうちになされている主の働きはまだ終わっていません。私は今、神が私を変えてくださるご計画の途上にあると思います。それでも、私がイエスを信じたとき、人生に大きな変化がありました。アルコール依存から解放され、人生に対する方向性がまったく変わりました。今朝皆さんが来られたとき、証のプリントを受け取られたと思います。そこには、ここ OIC の新しい会員おふたりの人生で神がなしておられる働きについて書いてあります。瀬川伸一郎兄・亜矢子姉ご夫妻は、洗礼を受けられた際に、この証を分かち合ってくださいました。どうぞお読みください。皆さんの信仰も大きく励まされると思います。

変えられた人生のもうひとつの例として、「アヤコの証」というビデオをお見せしたいと思います。偶然、このビデオに登場する女性もアヤコさんですが、こちらのアヤコさんは東京のジーサスライフハウスという別の教会に行っておられます。神はたくさんの教会をとおして働いておられます。ですから、さまざまなところにいるキリストにある兄弟姉妹の証を聞いてともに喜びます。では、アヤコさんの証を見てみましょう。[動画を見る <http://vimeo.com/41131828>]

人がイエスを信じると、神はその人の人生を変えてくださいます。これは良き知らせです。というのも、この墮落した世の中は、悲しみ、孤独、憂うつと戦っている人でいっぱいだからです。イエスを信じ、十字架で成し遂げられた御業と復活を信じる者には、神が罪の赦しと永遠の命を与えてくださいます。これは福音です。なぜなら、イエスがいなければ、私たちはみな罪人で、神から離れ、罪と死の奴隷だからです。しかし、イエス・キリストにあって、私たちはひとつとされ、自由にされているのです。

イエス・キリストの福音には、良き知らせがたくさんあります。罪の赦し、天国での永遠の命、心の平安、生き生きした希望、栄光の喜び、天での相続、神の子とされる特権、イエスの友とされること、天の父との和解、神の家族である兄弟姉妹との一致、癒し、生きる意義、など、もつとあります。

イエスは、ご自身が造られた一人ひとりを愛してくださいます。あなたがイエスをまだ知らないなら、イエスのそばにあなたが行くのを待っておられます。愛の絆へと招いておられます。**マタイ 11:28** で、イエスはこのように招いておられます。「**疲れた者、重荷を負う者は、だれでもわたしのもとに来なさい。休ませてあげよう。**」なんとも明快で美しい招きです。この招きに応えるには、ただ祈りの中でこのお方に向かって自分の罪を告白し、過ちを悔い改め、自分の心にこのお方を招き入れて、新しい命を与えてくださるよう願うだけです。



今日もう少し話すことがあります。説得力のある証を今聞いたところですから、ここでイエスの招きに応える機会を設けたいと思います。ここにいる人の中に、今イエスを信じる決心をするようにという神の導きを感じている人がいらっしゃるのではないのでしょうか。今から祈る祈りはその人たちのためのものです。また、すでにイエスを信じているクリスチャンで、信仰を新たにし、神との関係を深めたいと思う人のための祈りでもあります。では、ともに祈りましょう。

天の愛する父、全能の神よ、あなたはこの世とすべてのものを創られました。私たち人間も創ってくださいました。あなたと愛し愛される関係を築くためです。けれども、私たちはあなたを愛しませんでした。あなたが与えてくださったものに感謝しませんでした。あなたに反抗し、自我のままに罪を犯しました。私たちは言葉でも行動でも過ちを犯してきました。また、話さない、行動しない、という過ちも犯しました。正しいことを言わず、あなたの喜ばれることをしなかった過ちです。私たちは罪人です。あなたが私たちを罪と死にまかせて放っておいても、当然でした。けれども、主よ、あなたは私たちを放っておかれはしませんでした。あなたは私たちにあわれみをもってくださいました。イエス・キリストという人の姿でこの世に来て、私たちが受けるべき死を背負い死んでくださいました。そして三日目にあなたが墓からよみがえられ、罪と死に打ち勝たれたことと、永遠の命の約束が確かなこととを証明してくださいました。いつくしみ深き主よ、私たちは、今までのすべての過ちを悔いています。私たちは罪人です。そして罪を悔い改めます。あなたの喜ばれないものに背を向けることができるよう助けてください。イエスの十字架をとおして、私たちに救いを与えてくださることを感謝します。私たちの心にどうぞお入りください。そして、私たちが生まれ変わることができるよう、そこにとどまってください。あなたの聖霊を与えてください。聖霊によって私たちの信仰を支え、イエスとともに歩む歩みを導いてください。あなたのみことばに約束された救いの確信を与えてください。あなたのすばらしい恵み、深いあわれみ、尽きない愛を感謝します。イエスの御名によって祈ります。アーメン。

もしあなたが今いっしょに祈って、今日初めてイエスを受け入れたのなら、あなたは私たちにとってキリストにある兄弟姉妹になりました。おめでとうございます。神の祝福をお祈りします。信仰を新たに深めるために祈った人も、神をたたえます。神の祝福がありますように。イエスを信じる決心をした人がいたら、私たちは知りたいと思いますので、週報にはさんであるマイボイスカードを使ってお知らせください。「今日初めてイエスを信じた」、「今日改めてイエスを主であり救い主として信じる信仰を再確認した」など一言で結構です。また、祈ってほしいことやコメントなど何でも歓迎します。献金の時間にカゴが回ってきたら、そこにマイボイスカードも入れてください。毎週火曜日の祈祷会をはじめ、一週間をとおして、ここに書かれた祈りやコメントを書いてくださった人を覚えて祈っています。

IV. 結び

今日、私は OIC のみなさんに今年度の目標と祈りの課題を提示させていただきました。もう一度それを注意して見てみましょう。ここで皆さんに気づいてほしいことがいくつかあります。これが目標です。「**神の栄光のために、この会堂をいっぱいにしよう。**」これは、先ほど使ったものと同じスライドですが、ひとつだけ変えた部分があります。それは、「会堂をいっぱいにしよう」という部分の強調を消して、「神の栄光のために」という部分に強調をつけたことです。ここで皆さんに必ず覚えておいていただきたいのは、これが私たちのためではないということです。私たちの努力とか、OIC を大きくするとかということが焦点ではありません。一番大切なのは、神と神の栄光です。目標は「会堂をいっぱいにしよう」ですが、目的は、「神の栄光のために」です。アーメンでしょうか。アーメンですね。

祈りはこのとおりです。「具体的に私の祈りは、私たちが愛と伝道の心において成長し、2013年3月31日のイースター礼拝が始まる午前10時には、この会堂が神をたたえ主イエスの復活を感

謝する人でいっぱいになっていることです。」ここには重要なことがいくつかありますが、今日のところは、ひとつだけお伝えしたいと思います。それは、この祈りに特定の日付だけでなく午前10時という特定の時間が盛り込まれていることです。この日付は、まだ11ヶ月も目標達成までであることを示しますが、午前10時は来年のイースターを待たなくてもやってきます。

「千里の道も一歩から」ということわざがあります。来年のイースターに会堂をいっぱいにする目標への一歩目として、私たち自身が午前10時に教会に来ることをお勧めします。数週間前に撮った写真を見てください。ピンボケですみません。でも、このピンボケの写真には、もっと重要な問題が映し出されています。それは、日曜礼拝の平均出席者数が約130名であるにもかかわらず、この写真には約40名ほどの人しか写っていないことです。どういうことでしょうか。この教会の礼拝に来る約3分の1の人しか、午前10時の時間通りに来ていないということです。あとの3分の2は遅れて来たのです。数分遅れてくる人もいれば、1時間遅れてくる人もいます。



キース・グリーンは、「光の中で居眠り」という歌を書きました。その歌詞の中にこういう部分があります。「イエスは墓からよみがえられたのに、君は布団から起きあがりもしない。イエスは死からよみがえったんだ。はやく布団から起きあがれよ。」キース・グリーンは、あるがままを語るタイプですから、キース・グリーンの詩を使うのは少し乱暴な気もしますが、私たちには耳を傾ける必要があります。私自身、聞かなければならないメッセージです。日曜の朝はいつも早く来ていますが、他の曜日で、起きているべきときに居眠りしていることもあるからです。

誤解しないでいただきたいのですが、もちろん予期せぬできごとが起こって遅れることもあるでしょう。特に小さなお子さんがおられる家庭ではそうです。それはそれでよいのです。一時間遅れて来ても、あきらめて来ないよりはましですから。ですから、来週誰かが遅刻してきたからといって、その人を責めたりしないでください。何かあったのかもしれませんが、人のことではなく、自分のことについて、私は来週、そして毎週、遅刻せずに来よう、と心がけましょう。



最後にヘブライ 10:25 をお読みします。「ある人たちの習慣に倣って集會を怠ったりせず、むしろ励まし合ひましょう。かの日が近づいているのをあなたがたは知っているのですから、ますます励まし合おうではありませんか。」ここにいる皆さんは、明らかに主にある兄弟姉妹との集會を怠ってはいません。とは言え、大幅に遅刻するのが習慣化している人がいます。それは改めましょう。どうでしょう。来週の午前10時。10時少し前なら、なおさらけっこうです。賛美チームにとって大きな励ましとなるでしょうし、いつも時間通りに来ている人たちも、礼拝が始まる時に寂しくなくていいと思います。そしてもちろん、神に栄光をお返しすることができます。教会の礼拝に時間通りに来ることは、神を主として敬う小さな行いです。できる人はいますか。大きな目標に向かう一歩目として、来週午前10時に来られますか。来られる人は手を挙げてください。ありがとうございます。神の栄光のためにこの会堂をいっぱいにしましょう。主をたたえます。では祈りましょう。

V. 祈り